

漢文『漁夫の利』定期テスト対策問題 | 書き下し・現代語訳・句法の頻出設問と解答

組 番 氏名

／100点

本文

【白文】

趙且伐燕。蘇代為燕謂惠王曰、「今者臣來過易水、蚌^①方出曝。而鷸^②啄其肉」。蚌合而箝其喙。鷸曰、「今日不雨、明日不雨、^③即有死蚌」。蚌亦謂鷸曰、「今日不雨、明日不雨、即有死鷸」。④兩者不肯相舍。漁者^⑤得而并擒之。今趙且伐燕。燕趙久相支、以敵大衆、^⑥臣恐強秦之為漁父也。願王之熟計之也。」惠王曰、「善。」乃止。

【書き下し文】

趙（てう）且（まさ）に燕（えん）を伐（う）たんとす。蘇代（そだい）燕（えん）の為（ため）に惠王（けいわう）に謂（い）ひて曰（い）はく、「今者（いま）臣（しん）来（き）たりて易水（えきすい）を過（す）ぐるに、蚌（ぼう）^①方（まさ）に出（い）でて曝（さら）す。而（しか）して鷸（いつ）^②其（そ）の肉（にく）を啄（ついば）む。蚌（ぼう）合（がっ）して其（そ）の喙（くちばし）を箝（はさ）む。鷸（いつ）曰（い）はく、『今日（こんにち）雨（あめ）ふらず、明日（みやうにち）雨（あめ）ふらずんば、^③即（すなは）ち死蚌（しぼう）有（あ）らん』と。蚌（ぼう）も亦（また）鷸（いつ）に謂（い）ひて曰（い）はく、『今日（こんにち）出（い）でず、明日（みやうにち）出（い）でずんば、即（すなは）

ち死鷸（しいつ）有（あ）らん』と。④両者（りやうしや）相（あ）ひ舎（す）つるを肯（がへ）んぜず。漁者（ぎよしや）⑤得（え）て之（これ）を并（あは）せ擒（とら）ふ。今（いま）趙（てう）且（まさ）に燕（えん）を伐（う）たんす。燕（えん）趙（てう）久（ひさ）しく相（あ）ひ支（ささ）へ、以（も）つて大衆（たいしゅう）を敝（つか）れしめば、⑥臣（しん）強秦（きやうしん）の漁父（ぎよほ）と為（な）らんことを恐（おそ）るるなり。願（ねが）はくは王（わう）之（これ）を熟計（じゆくけい）せよ」と。恵王（けいわう）曰（い）はく、「善（よ）し」と。乃（すなは）ち止（や）む。

※書き下しの仮名遣いは歴史的仮名遣いで示しています。教科書によっては「蚌（はまぐり・どぶがい）」「鷸（しぎ）」の表記・送り仮名や、「箝（はさ）む／拊む」「敝（つか）る／弊る」など字体の異なる版があります。お使いの教科書本文を最優先で確認してください。

設問

- 傍線部①「方出曝」を、送り仮名も含めてすべてひらがなで書き下しなさい。
- 傍線部②「啄其肉」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部③「即有死蚌」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部④「両者不肯相舎」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部⑤「得而并擒之」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部⑥「臣恐強秦之為漁父也」を書き下し文に直しなさい。
- 本文中の「不雨」「不出」に共通して用いられている、漢文の基本的な句法（働き）を、漢字二字で答えなさい。
- 「今日不雨、明日不雨、即有死蚌」について、次の問いに答えなさい。
 - ここでの「即」は、どのような意味・働きで用いられているか。最も適切なものを次から選びなさい。
 - ア すぐに（時間的な早さ）
 - イ 〜であれば、その結果として（仮定の帰結）
 - ウ つまり・すなわち（言い換え）
 - エ かりに〜だとしても（逆接の仮定）
 - この一文を現代語訳しなさい。
- 「不肯相舎」の「不肯」は、どのような意味を表すか。最も適切なものを次から選びなさい。
 - ア 〜することができない
 - イ 〜してはならない
 - ウ どうしても〜しようとしなない（進んで〜しない）
 - エ まだ〜していない
- 次の語の、本文中での読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
 - 蚌

2. 鷸

11. 次の語の、本文中での意味を答えなさい。

1. 曝す

2. 擒ふ

12. 傍線部②の直後「蚌合而箝其喙」を現代語訳しなさい。

13. 「漁者得而并擒之」を現代語訳しなさい。「之」が何を指すかが分かるように訳すこと。

14. この話の中で、「漁者（漁夫）」が手に入れたものは何か。本文中の二つの生き物の名を挙げて答えなさい。

15. 蚌と鷸は、なぜ二匹とも漁夫に捕まってしまったのか。その理由を、本文の内容に即して三十字以内で説明しなさい。

16. この話を語った蘇代は、どの国のために行動しているか。本文中から読み取って答えなさい。

17. 蘇代は、この蚌と鷸のたとえ話で、当時の国際情勢の何を説明しようとしたのか。次の空欄にあてはまる国名を、本文を踏まえて答えなさい。

- 蚌と鷸＝争い合う〔 A 〕と〔 B 〕
- 漁夫（第三者）＝労せず利益を得る〔 C 〕

18. 蘇代がこの話によって恵王に最終的に伝えたかったこと（主張）として最も適切なものを、次から選びなさい。

- ア 燕を一気に攻め滅ぼし、領土を広げるべきだ。
- イ 燕と争い続ければ国力を消耗し、強国の秦に利益を奪われてしまう。
- ウ 漁師の仕事を増やして、国を豊かにすべきだ。
- エ 蚌や鷸のような生き物を大切に、自然を守るべきだ。

19. 本文の最後で恵王が「善」と言って「乃ち止む」とあるが、これはどういうことか。簡潔に説明しなさい。

20. 故事成語「漁夫の利」は、現在どのような意味で使われるか。簡潔に説明しなさい。

21. 「漁夫の利」とほぼ同じ意味を表す四字熟語として最も適切なものを、次から選びなさい。

- ア 四面楚歌
- イ 漁人之利（ぎょじんのり）
- ウ 呉越同舟
- エ 螢雪之功

22. この故事から学べる教訓を、現代の私たちの生活（学校生活・人間関係など）に当てはめて、あなたの考えを一文で書きなさい。

23. 出典について、次の問いに答えなさい。

1. 「漁夫の利」が収められている書物の名を漢字で答えなさい。
2. その書物は、おもにどのような内容を集めた書物か。最も適切なものを次から選びなさい。

- ア 戦国時代の遊説家（説客）の言論・策略を国別に集めた書物

- イ 孔子とその弟子の言行を記録した書物
- ウ 自然や四季を詠んだ詩を集めた詩集
- エ 古代中国の地理や産物を記した地理書



答え合わせはこちら